様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	姉妹都市議員交流事業	コード	165163

２ 担当部課	部等	議会事務局	課等	議会事務局	作成者	小口　明彦

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
	政　策	総合計画の推進に向けて	施　策	その他
予算科目		姉妹都市親善友好費	業務委託	なし（直営）
実施義務		なし（選択的事業）	国県補助	なし
根拠法令		なし		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		姉妹都市の議会との交流及び研修事業。
目的	対象者	市民
	意　図	姉妹都市との交流や研修会を通じて相互理解を深め友好促進を図る。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・岡谷太鼓まつりに姉妹都市の議会関係者を招き友好親善を深めた。
・東伊豆町議会との議員交流研修会が再開され、東伊豆町で１１月１４日、１５日に開催し、岡谷市議会議員１８名が参加した。
　町政の概要や議会運営の状況について意見交換や質疑を行い、両市町の理解を深めるとともに、議員の資質向上と姉妹都市としての友好を深めた。

前年度の課題への対応	特になし

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	交流事業数			単位
実績値	1	2	2	
＊指標の説明	富岡市議会及び東伊豆町議会との交流研修会は隔年開催（H28東伊豆町、H29富岡市）			
② 成果指標（指標名）	参加した議員数			単位
目標値	8	47	40	44
実績値	6	41	40	
達成度	75.0%	87.2%	100.0%	
＊指標の説明	太鼓祭り、富岡市議会及び東伊豆町議会との交流研修会に参加した議員数			
＊目標値の設定方法の説明	太鼓まつり及び交流研修会への参加議員数			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	91,500	496,347	463,029	191,000
経常経費	91,500	89,347	91,780	116,000
臨時的経費	0	407,000	371,249	75,000
＊臨時的経費の説明	富岡市議会、東伊豆町との交流研修会は隔年開催（H27富岡市、H28東伊豆町、H29富岡市）			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		160,000	160,000	160,000	160,000
正規職員の人数（人）		0.02	0.02	0.02	0.02
③ 合計コスト（①＋②）		251,500	656,347	623,029	351,000
前年度比			261.0%	94.9%	56.3%
財源内訳	一般財源	251,500	656,347	623,029	351,000
	特定財源	0	0	0	
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		251,500	124,674	125,890	
前年度比			49.6%	101.0%	
⑤ コストに関する補足説明		富岡市議会、東伊豆町との交流研修会は隔年開催（H28東伊豆町、H29富岡市）			

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
姉妹都市交流事業開催市負担金	件数	1	1	1	1
	金額	91,500	496,347	351,780	176,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	91,500	496,347	351,780	176,000
	割合	100.00%	100.00%	75.97%	92.15%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　97.6%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　100.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ・特になし	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・特になし	
	改善開始時期	

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	